

のぞいてみる？

東電の建築

東京電力の建築って何だろう？

や省エネの
シャリスト

ゼネラリスト
として
建築を造る



二酸化炭素
排出量ゼロの
変電所づくり

持続可能な
社会のための
インフラ

地域共
再生



環境
低減
建築

海
進

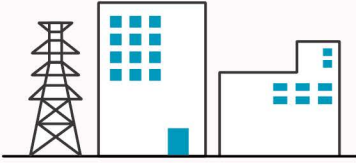
東京電力 建築技術職採用

01

東電建築技術者の魅力

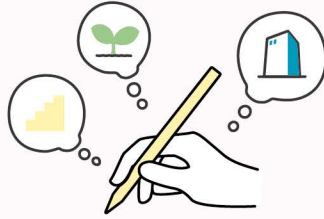
電力の安定供給に関わる様々な建築を
社会の皆様へ届けています。

01 ゼネラリストとして 建築物を造る



設備・構造・計画すべての分野において社会に貢献する建築物に携わることができます。

02 自らの思いを 具現化できる



「発注者」としてプロジェクト全体をマネジメントしながら、自らの思いを具現化することができます。

03 環境負荷低減に 貢献する



建築物の計画から運用・保守までを一貫して担うことで、保有建築の有効活用から環境負荷低減に貢献できます。

02

東電建築技術者の役割

建築技術者の基本業務「保全業務」から
発注者としての役割をご紹介します。

保全業務とは？

電力の安定供給の維持・確保と公衆・人身安全を確保するために、建物及び付帯設備などの状態を把握し、管理・保守業務することです。

保全業務の流れと役割

社内部門や社外パートナー様のご協力のもと実施する建物保全業務の流れと、建築技術者の発注者としての役割をご紹介します。



03

プロジェクト紹介

「福島への責任の貫徹」「持続可能な社会への貢献」「電力の安定供給」を果たすため、取り組んでいるプロジェクトをご紹介します。

構造・耐震

福島第一原子力発電所の事故を踏まえて、柏崎刈羽原子力発電所の耐震性向上や自然災害・重大事故等に備えた安全対策の設計と工事を実施しています。
また、新事務本館をはじめ、新設建物の設計も行っています。



再稼働に向けた審査対応

安全性を高めた設計
および適合性審査対応

安全対策工事

浸水・火災・竜巻防護対策、
緊急時対策所の設置

新事務本館建設計画

カーボンニュートラルと
防災を実現するオフィス

DX

福島第一原子力発電所の原子炉建屋については、長期間にわたり建屋の健全性を確認していく必要があります。高線量エリアの調査については、建屋内の3Dデータを用いて作業計画を立案し、人による調査が難しい箇所については、四足歩行ロボによる現場調査を検討しています。



DX化

3Dデータの活用・ロボットの導入

自ら操作する=手の内化

技術力の向上・経験の蓄積

高線量等困難への挑戦

被ばくリスクの低減

カーボンニュートラル・ZEB

カーボンニュートラル実現のため、自社ビルの設備改修によるBELS認証「ZEB Ready」を取得しました。当社は「ZEBプランナー」に登録し、自社のみならず、お客さま向けにもZEBコンサルティングを実施しています。



快適な執務環境の創出

窓廻りの温熱環境改善
(ペリメータレス化)

エネルギー消費量削減

既存蓄熱槽を活用した
二温度供給システムによる高効率化

継続的な運用改善

運転実績に基づく
たゆまぬ設備チューニング

計画・ファシリティマネジメント

電気事業にかかるコスト低減と、事業領域の拡大による収益獲得のために、当社の保有する建物や設備の有効活用及び整備をしています。

※ 写真は事業の一例「Koenji Crossover」



賃貸事業化

容積率の有効活用(新築)や
廃止社宅のリノベーションなど、
自社アセットを有効活用

廃止・統合・整備

建物のスリム化による
維持管理費削減

デザイン・ABW

オフィス機能、非常災害対策本部機能、地域共生機能が共存する複合施設の計画が進行中です。オフィスは働く場所や時間を、それぞれの仕事に合わせて自由に選べる働き方に対応した執務空間の創出や「自然とつながりたい」という欲求に基づいたデザイン手法を取り入れ、多様な働き方を推進します。



業務の効率化

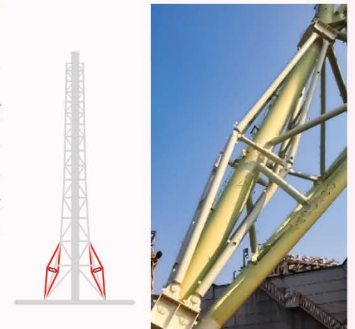
業務内容に適した
執務環境空間の創出

地域共生

地域共生施設、災害時開放スペース

防災・レジリエンス強化

電力供給に重要な建物の耐震性評価や地震・水害等に対するレジリエンス強化に関する検討を行っています。これらの検討および技術支援を基に無線鉄塔への制振デバイスの導入等の技術開発に取り組んでいます。



自然災害に対する構造検討

所有建物の耐震性評価、
レジリエンス強化検討

検討を踏まえた技術開発

設計用地震波の作成、
耐震性評価手法の高度化等

04

身に付くスキル

充実した研修体制や資格取得支援、多様なキャリアイメージなど成長できる環境が整っています。

研修体制

基本から専門スキル研修まで充実。どんな職場でも活躍できる人財に！

基本的なスキル研修*

入社時研修

社会人、業務の基礎を学ぶ

課題研修

課題解決能力を実践を経て養う

本社駐在研修

全社的視野かつ経営的視座の醸成

※1~5年目にて実施

専門的なスキル研修

工事監理者養成研修

工事監理の留意点の習得

設計力向上研修

設備・構造・計画分野の技術力向上
(設備・構造の社内研究会も実施)

建築士取得支援

学科研修 / 製図研修 / 選抜者対象の資格学校通学支援制度

キャリアイメージ

入社3~4年目からは、将来なりたい人財像を踏まえ、多様なキャリアを希望することができます。

将来なりたい人財像

キャリアプラン

本人の適正



建築分野 スペシャリスト



耐震・省エネのスペシャリスト

建築プロジェクト リーダー



建物のライフサイクルやプロジェクト全体を俯瞰してマネジメントする人財

経営・事業 リーダー



新規事業や海外事業の推進・経営を担う人財

05

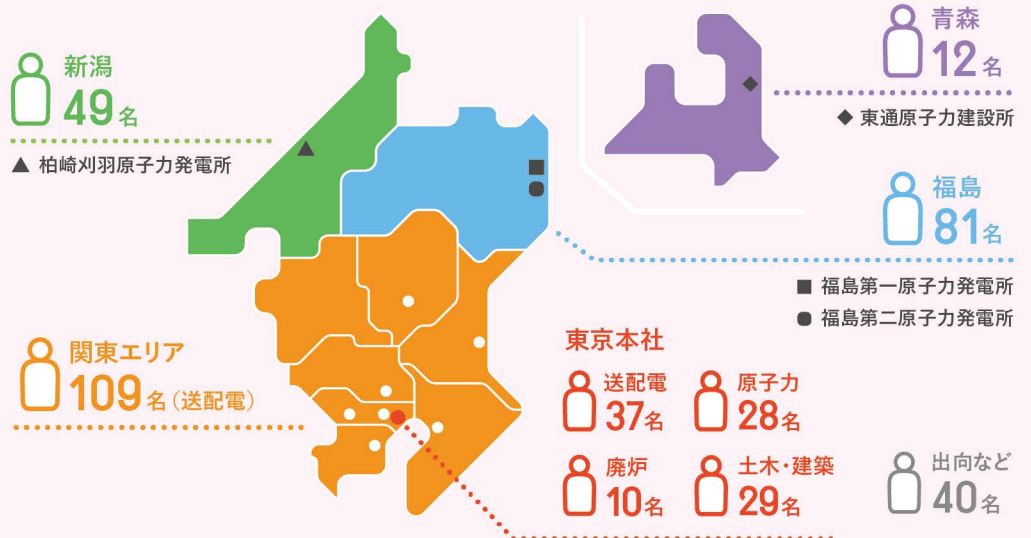
勤務地情報

送配電事業

栃木 / 茨城 / 埼玉 / 千葉 / 東京 / 多摩 / 神奈川

原子力・廃炉事業

福島 / 新潟 / 青森 / 東京



※2023年時点

若手社員に聞いてみた!

TEPCOでのワークライフバランス



INTERVIEW 01



R.I 2011年入社 / 高校卒

東京電力ホールディングス
原子力設備管理部
建築技術グループ

学生時代に志望していた業界・企業

インフラ業界、ゼネコン

東京電力を選んだ理由

求人票の中で、東京電力が最も規模が大きく、社会的に重要な機能を担っている企業で、自分の力を試してみたい気持ちや、社会のお役に立てる仕事に携わりたいという気持ちから志望しました。また、事業者の立場で計画、設計、工事監理といった幅広い建築業務に携われる仕事は珍しく、電力会社の建築部門ってどんな仕事をしているんだろう?と興味を持ったことも理由の一つです。

現在の業務とワークライフバランスについて

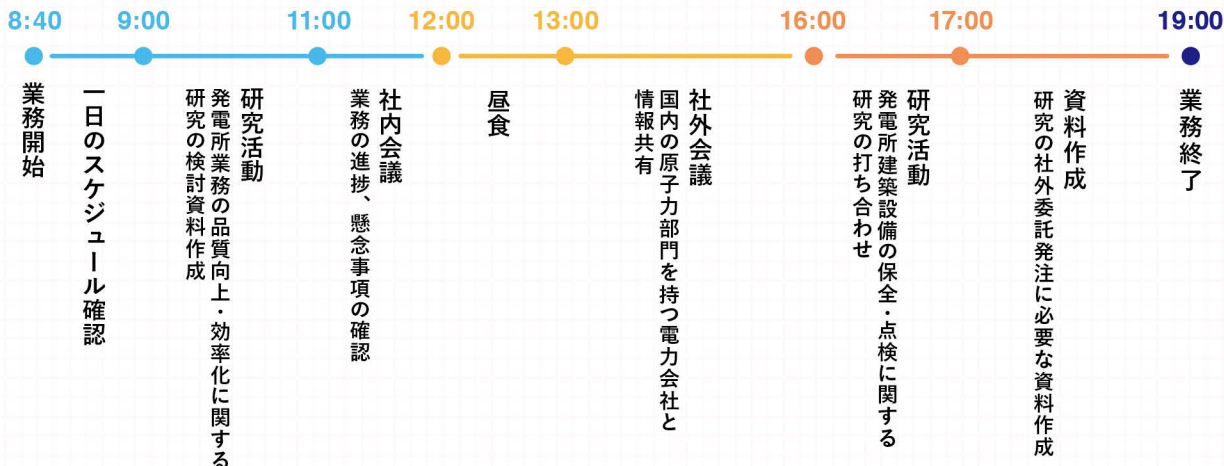
在宅勤務を有効活用した働き方が推奨されており、私は新潟県柏崎市から東京へ単身赴任をしていますが、週末に柏崎の自宅へ帰宅した際は月曜日にそのまま自宅で在宅勤務を行う等、仕事と家庭環境の両立に配慮した働き方が可能です。また、積極的な休暇取得も推奨されているので、業務の進捗に応じて休暇を取得し、家族との時間や趣味の時間に充てています。働く環境や時間を自分で考えて設定することができ、また、上司や同僚のフォローも手厚いので、ワークライフバランスを整えやすい職場環境だと思います。

仕事の中で大事にしていること

東京電力が原子力発電所を運営していくためには、地域住民の皆様からの信頼が不可欠です。私は原子力部門に所属していますので、自分が携わる全ての業務が原子力発電所の安全につながることを意識し、自分が納得いくまで突き詰め、より良い成果が得られるよう追求する気持ちを大事にしています。

ONE DAY SCHEDULE

一日のスケジュール





INTERVIEW 02



D.K 2016年入社 / 高校卒

東京電力パワーグリッド
用地部 FM 推進センター
東京南地域施設管理グループ

学生時代に志望していた業界・企業

インフラ業界

東京電力を選んだ理由

学生時代に震災を経験し、インフラの重要性を強く感じたことをきっかけにインフラ業界に興味を持ちました。高校時代に先生からの紹介で東京電力に建築部門があることを知り、建築を通して人々の生活を支える仕事がしたいと考えたこと、また、インフラ業界の中でも事業規模が大きく、より社会に貢献ができると考えたことが理由です。

現在の業務とワークライフバランスについて

事務所・変電所等の建物保全業務に携わっており、主に建物や設備の改修・修繕工事を担当しています。管理する建物や設備の数が多く、改修方法も様々であるため、日々勉強の毎日ですが、とても充実感を感じています。

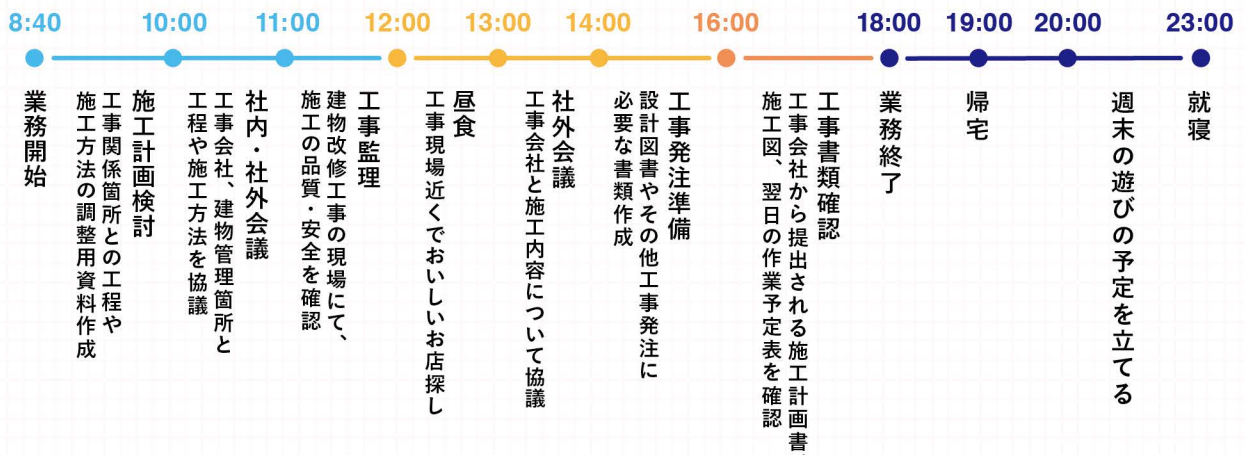
土日・祝日が休みのため、プライベートの予定も組みやすく、積極的な休暇取得が推奨されていることもあり、連休を取得し地元へ帰省して友人と遊んだり、旅行に行ったりと私生活も充実しています。

仕事の中で大事にしていること

社内外問わず、関わる相手が何を考え、何を求めているかを考えるよう意識して仕事に取り組んでいます。お客様や工事会社、社内の関係部署など必ず人と関わって仕事をするので、良い関係を築き、「この人と仕事ができて良かった」「頼んでよかった」と思われる人でありたいと思っています。



ONE DAY SCHEDULE 一日のスケジュール





INTERVIEW 03



K.T 2019年入社 / 大学卒

東京電力ホールディングス
技術戦略ユニット 土木・建築統括室
土木・建築人財開発センター
建築グループ

学生時代に志望していた業界・企業

インフラ業界

東京電力を選んだ理由

生活の「あたりまえ」を支える仕事、建物の一生に一貫して関わる仕事に就きたいと考えていたため、インフラ企業であり、多くの建物を所有し管理する東京電力を志望しました。また、建築以外の業務に携わる機会も多く、社内転職ができる環境を魅力的に感じたことも志望した理由の一つです。

現在の業務とワークライフバランスについて

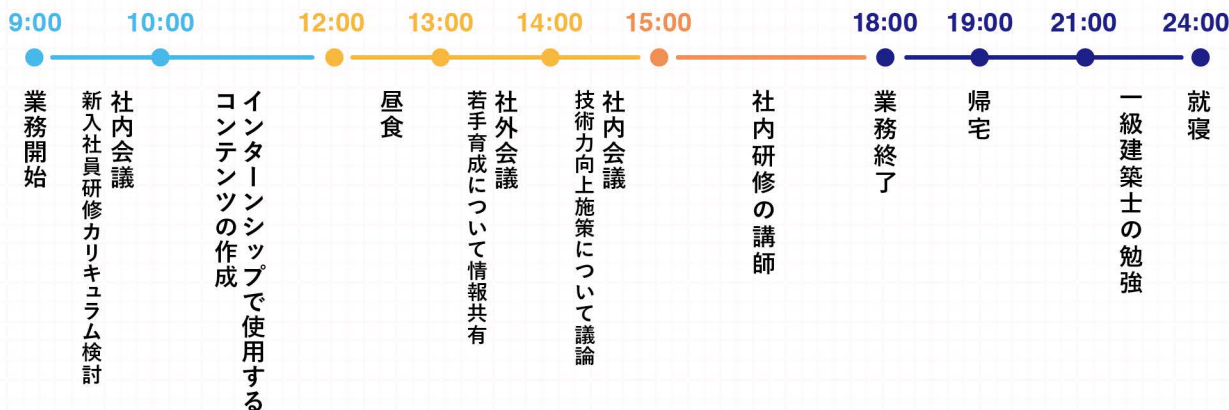
建築部門の若手社員を対象とした研修の運営、インターン等の人財確保に関する業務を担当しています。前職場(発電所勤務)で学んだこと、感じたことを生かしつつ、足りない部分は職場の仲間と一緒に学びながら日々業務を行っています。現在の職場は、出社か在宅勤務かを選択できる業務内容であるため、プライベートの予定も組みやすいです。初期配属が柏崎刈羽原子力発電所だったのですが、同期も多く、休日はよく遊びに出かけていました。最初は地方勤務に不安もありましたが、公私ともに仲間たちと楽しく過ごすことができました。

仕事の中で大事にしていること

お客様(研修受講者、発電所のある地域住民の方等)の立場に立つこと、信頼してもらえる人になることを意識して仕事しています。



ONE DAY SCHEDULE 一日のスケジュール



若手社員に聞いてみた!

TEPCOでの ワークライフバランス



INTERVIEW 04



R.T 2021年入社 / 大学卒

東京電力パワーグリッド
用地部FM推進センター
埼玉・群馬・新潟地域施設管理グループ

学生時代に志望していた業界・企業

インフラ業界、ゼネコン

東京電力を選んだ理由

大学時代、安全・快適・環境といった建築品質に関わる建築材料学を専攻しました。就活時、研究室OBから東京電力に建築部門がある事を教えてもらい興味を抱きました。安全や快適を考えるインフラ業界に興味があったこと、更に「電気の安定供給」を超えて「人々の安心で快適な暮らし」を目指す東京電力の理念に共感したことが大きな理由です。

現在の業務とワークライフバランスについて

事務所、変電所の改修・修繕といった建築保全に関して、主に設計から監理に至る業務を担っています。特に、現在稼働している事務所の空調設備改修工事は、内装・設備・電気、安全法令の知識に加え、執務と工事との共存に向けた社内外関係者との折衝・調整力が問われます。様々な経験を通じて成長しているのを実感しています。

また、弊社は土日・祝日休みなので、平日に仕事を頑張った分は休日でリフレッシュすることができます。私は友人と遊びに行ったり、一人で釣りに行ったりと外出が多いです。

仕事の中で大事にしていること

コミュニケーション(折衝・調整力)です。建物使用者のニーズに基づき建築保全を計画する際、相手の意見要望に傾聴して建築的に検討する。そして今度は自分の検討結果を、建築を知らない相手の立場で丁寧かつ確実に伝える。このようなコミュニケーションや折衝・調整が成り立てばこそ、良い仕事になると思います。

ONE DAY SCHEDULE 一日のスケジュール

